



# きらくなたより

発行者 鈴木 忠好  
発行月 R4年4月  
編集者 坂口 洋一  
No. 58



花木団地。白モクレンと桜の競演



待ちに待った桜前線も、あつと  
いう間に通り過ぎ、山桜、藤、桜  
草、牡丹、ハナミズキ・・・とまさ  
に百花繚乱。若葉が萌え、野山が  
美しい季節になりました。  
わがきらくな会も6年目を迎え  
ました。小学校で言えば「6年生」  
この2年間はコロナの影響で、思  
い切った活動はできませんでした  
が、少しでも、会員が楽しく、少  
しは町内のお役にも立ちたいと活  
動してまいりました。  
今年度もまず、子供たちの喜び  
顔を見たいと、じゃが芋の植え付  
けから活動を開始しました。経験  
豊富な会員の指導を受け、上手に  
植えることができました。  
好天にも恵まれ、いい汗をかきま  
した。

日 春が来た 春が来た。。日

- いつまで経ってもマスクが取れ  
ません。日差しが強くなり、マス  
クの部分だけ日に焼けなくてどう  
なるのか心配です。  
先日NHKで  
「マスク時代のコミュニケーション  
ョン」という話をしていました。  
① 目を細めたり、眉を動かしたり  
して表情を分かりやすくする。  
② 一年生の担任の先生になった  
つもりで、ゆっくろ話す。  
③ 伝えたい要点を強調して伝え  
る。  
④ 耳の遠い人に話すように伝え  
る。だそつです。  
生まれつき目の細い人、目の周  
りが皺だらけの人等困りますね。  
参考に見てみてください



## 困ったもんだ！

4月14日(木) プラペット類集積の日ですが、大きなゴミ袋いっぱい  
の空き缶が出されていました。  
係員は「収集できません」の張り紙  
をはって置いて行きました。ゴミ当  
番の家では決まりに従い、自宅に持  
ち帰り保管しています。このコロナ  
禍、他人ちのゴミを保管するなんて  
嫌ですよ！ご注意ください。



## ド根性桜！

勝手にド根性桜と名前を付  
けた桜の木があります。  
根元から倒れているのです  
が、枯れもせず、幹の途中か  
ら真上や、斜め上に伸び、春  
になると見事に花を咲かせる  
のです。桜の木の生命力に  
驚かされます。人間もかくあ  
りたいものだ、見るたびに  
感銘を受けます。

県営団地の東外れ、公園の  
道路わきにあります。興味  
のある方は是非ご覧あれ！

「がんばれえ！  
ウクライナ！」

